

## 審 議 経 過

(1) 開会	
(2) 会長及び副会長の選出について	
(3) 市長挨拶	
(4) 報告事項 ①第3次伊万里市環境基本計画実施計画（前期）の策定について ②地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の改定について ③環境基準の変更に伴う環境保全協定細目書等の一部改定について	
会長	<p>それでは、報告事項①第3次伊万里市環境基本計画実施計画（前期）の策定について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>[①第3次伊万里市環境基本計画実施計画（前期）の策定について事務局から説明]</p>
会長	<p>ご説明ありがとうございました。</p> <p>説明資料が28ページと多いということで、もう一度最初から確認していきますので、ご意見、ご質問ございましたらその都度よろしくお願いします。</p>
会長	<p>5ページのグリーンカーテンコンテストの応募件数の部分ですが、現状値が14件となっていますが、内訳はどのようなになっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>令和6年度のグリーンカーテンコンテストの応募件数は、家庭部門が10件、事業所・団体が4件の計14件となっております。</p>
会長	<p>2029年には応募件数26件の計画となっていますが、現時点では絶対数が少ないと思います。</p> <p>大阪市では、グリーンカーテンの取組が盛んとのこと、大阪市の事例を</p>

	事務局にお知らせしましたが、調べていただけましたか。
事務局	大阪市の取り組みについて、染谷会長からご説明いただき、非常に盛り上がっている状況というのは確認しております。
会長	<p>私自身も佐賀大学で学生たちとグリーンカーテンを実施しまして、大学の校舎の4階まで伸びるかどうかということをやりました。結果は3階までが限界でしたが、学生たちも大喜びで取り組んでくれました。</p> <p>伊万里市でも、大阪市などの先進地の事例を参考にしながら、ホームページ等で受賞者の紹介であったり、グリーンカーテンの面白さを紹介したりして市民の方々に興味を持ってもらえれば参加者も増えていくと思います。</p>
会長	6ページでクールシェアの実施とありますが、一般市民の方には耳慣れない言葉ですので、説明書きを入れるようにお願いします。
会長	7ページも同様にアグリゲーターについての説明書きを入れるようにお願いします。
会長	8ページで公共施設のLED化を2029年までに100%にするという計画となっていますが、予算的な裏付けがあるのでしょうか。
事務局	補助金等を活用しながら進めていく計画になっております。
会長	8ページのZEB化についても説明書きを入れるようにお願いします。
委員	小学校低学年からアサガオなどの育て方を勉強しますが、上級生になると打ち切られてしまうケースが多くみられます。幼少期のそういった体験は将来に役立つものだと思いますので、6年間や9年間かけて将来引き続き取り組めるグリーンカーテンの実施方法を市から教育の現場に共有してほしいと思います。

事務局	<p>先程の説明の中で申し上げませんでしたでしたが、令和6年度の実績が14件と少ないということで、令和7年度からは家庭部門と事業所部門、さらに学校・保育園部門を創設しまして、コンテストを実施しております。実際、種の配布も学校や保育園に希望をとりまして、要望があったところには種を配付しております。そういった形で、令和7年度は18件と若干ではありますが、応募件数が増えたというところです。実際、保育園や学校での取り組みが増え、今年度からわずかですが改善をしたと考えております。</p> <p>今後もしばらく様子を見たいと思っております。</p>
会長	<p>小学校での環境教育は非常に効果が高いと思います。ぜひ、環境関係だけでなく、様々な分野で教育委員会や他の部署と連携しながら進めていただければと思います。</p>
会長	<p>10ページの家庭、事業者等への再エネ設備の導入促進のところで、伊万里市の太陽光発電設備の導入件数の現状値が2317件となっていますが、この件数は家庭用でしょうか。それとも公共施設等も入っているのでしょうか。</p>
事務局	<p>10キロワット未満という家庭用の小さいものになります。</p>
会長	<p>設置率は何%ぐらいになりますか。</p>
事務局	<p>令和5年度の世帯数等で計算しますと、伊万里市では1世帯当たり10%となっております。</p>
会長	<p>約10%ということですね。</p> <p>佐賀県全体の平均が10数パーセント程度ありますので、それから考えると伸びしろもあると思いますので、取り組みを進めてほしいと思います。</p>
会長	<p>10ページの公共施設への再エネ発電設備などの率先導入について、目標数値は定めていないのでしょうか。</p>
事務局	<p>太陽光設備は高価なものということもありまして、予算の裏付け等が取れていない中で具体的な数値目標までは設定できていないため、まずは対象</p>

	<p>設備の評価、選定を進めているところになります。</p>
会長	<p>伊万里市の公共施設ですので、計画的に導入するということはできると思います。そういう意味でも、新規公共施設の建設計画があるときに、関連の部署と横断的に連絡調整をして進めるという対応が必要になるかと思います。</p> <p>あと、災害に強いまちづくりというのがとても重要なことだと思います。そういったときに公共施設に電気が供給されていたり、あるいはボイラーが動いていたり、そういう災害に強いまちづくりは環境部門だけでは実現できないことだと思いますので、市役所内の各部門と連絡調整しながら、伊万里市の公共施設での災害に強い施設づくりを進めていってほしいと思います。</p> <p>また、その一環として、例えば、太陽光パネルを設置することで、夜間はそのバッテリーに充電した蓄電池の電源が供給できるというような総合的な災害対応の対策の一環として導入するようなスタンスをぜひ持っていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>太陽光パネルにつきましては、そういった災害に強いまちづくりに繋がるということで、環境省等の補助金がたくさん出ている状況にあります。</p> <p>災害関係につきましては、防災危機管理課と連携調整しながら、検討ができればと思っております。</p>
会長	<p>12ページのEV充電スタンドの設置推進の部分ですが、EV自動車というのは、単なる移動手段ではなく、1家庭の3日分の電気を蓄電できるエネルギー供給源になります。災害時に、EV充電スタンドの普及により、市民及び事業所が扱える状況にあれば、災害に強いまちづくりにも繋がりますので推進していただければと思います。</p>
委員	<p>11ページの公用車への次世代自動車の積極的な導入の部分ですが、伊万里市役所以外の市内にある県の施設やJA、各企業等への対応はどのように考えているのでしょうか。</p>
事務局	<p>事業所や市民への次世代自動車の導入についてですが、どこに何台入って</p>

	<p>いるという数値の把握は現状難しいため、市が率先して導入することで、市民や事業所に姿勢を示して、導入を促していきたいという考えであります。</p>
会長	<p>13ページの森林整備の推進のところで、森林の二酸化炭素吸収量や間伐量については、現状維持という計画になっておりますが、森林整備の推進ということであれば、数値目標的にも変わっていても良いのではないかと思います。ですが、どうでしょうか。</p>
事務局	<p>森林整備の推進につきましては、担当課である農山漁村整備課が管理をしているところでありますが、担当課によると、担い手不足など様々な課題があるようでして、計画的な間伐量の確保についても苦慮している現状であるため、まずは現状維持ということで計画を進めていくという内容になっております。</p>
会長	<p>現状維持は伊万里市の森林面積をこれ以上減らさないためにも、非常に重要なことだと思います。</p> <p>ただ、間伐は非常に好ましい森林の管理方法だと思いますので、様々な課題があって難しいという説明も大変理解できますが、そういう意味でも間伐量を増やしていただけたらと思います。</p>
会長	<p>14ページの家庭系ごみの削減のところで、資源ごみ・集団回収を除いた家庭系ゴミ1人1日当たりの排出量の現状値が525グラムとなっており、非常に多いと思います。全国平均や佐賀県の平均値は調べてありますでしょうか。</p>
事務局	<p>令和5年度の1日当たりの家庭系ごみの排出量の全国平均は、475グラムになっております。</p>
会長	<p>全国平均と比較しても伊万里市の1日当たりの家庭系ごみの排出量は多いということになりますね。全国平均だと都市部の人口が入っていると思います。都市部の場合、マンション等が多いため、全てごみとして出していると思いますが、伊万里市の場合、持ち家も多いため、家庭菜園に埋めたり、堆肥を作ったり、様々な工夫はできると思います。他にも、はちがめプランが回収して、生ごみ堆肥してるところもあると思います。むしろ、持ち家など</p>

	<p>少し土地にゆとりのある伊万里市では全国平均よりも、ゆうに少なくていいはずですが。それでも全国平均より多いということは、そこに何か問題が潜んでいるのではないかと思います。すぐに回答は出ないと思いますので原因を調べていただきたいと思います。</p>
会長	<p>14ページの事業系ごみの削減の部分ですが、年間3967トンとなっており、多いと感じます。事業所系ごみとして排出されるのはどんなものが多いのか分かりますか。</p>
事務局	<p>事業系ごみにつきましては、飲食店やスーパー、そして病院などのおむつ等が多量排出者として報告が上がっていると把握しております。</p>
会長	<p>飲食店やスーパー、病院などはやむを得ないところもありますが、ごみを減らす方法はあると思いますので、対策を立ててほしいと思います。</p>
会長	<p>15ページのフードドライブについても説明書きをお願いします。</p>
会長	<p>15ページの3Rの推進のところで、現在、市で回収している資源ごみは乾電池、蛍光灯、ビン類、ペットボトル、発泡スチロール製トレイ、リチウムイオンバッテリーの6品目となっていますが、容器包装プラスチックは集めていないのでしょうか。</p>
事務局	<p>現在、容器包装プラスチックはリサイクル品目に入っておりません。</p>
会長	<p>なぜ容器包装プラスチックは集めていないのでしょうか。</p>
事務局	<p>現状、集めていないというより、取り組めていないという表現になります。今のところ、燃えるゴミとして容器包装プラスチックも含めて、クリーンセンターの方でサーマルリサイクルという形で、燃料の代わりとして、現在、燃やしている状況でございます。</p> <p>ただ、いまのところ、プラスチックのリサイクルについては努力義務となっておりますが、伊万里市としても取り組みたいという考えを持っております。</p>

	<p>しかし、単独でなかなか難しいという状況でございますので、広域という形で取り組めないか、今のところ検討しているという状況でございます。</p>
会長	<p>小城市では、月に1回、容器包装プラスチックを収集されていますが、ゴミステーションには大量のごみが集まります。それほど、環境に対する住民の関心は非常に強いと思います。伊万里市でも、ぜひ導入していただきたいと思います。</p>
	<p>しかし、北海道札幌市で容器包装プラスチックを分別収集して、最終的に清掃工場で焼却されていたことが判明し、住民が怒りに震えているという事件が起きています。その時の説明も、サーマルリサイクルで有効活用しているというものでした。分別後、取り扱う業者で、処理業者、請負、容器包装プラスチックを資源化するというのを請け負う業者が確実にいないと、行き場がなくなり、結局燃やすという事になります。こういうトラブルは、廃棄物行政では非常によくあることですので、ぜひ伊万里市ではそういうことがないように、現在、容器包装プラスチックの収集をご検討中とのことですので、ぜひ進めていただければと思います。</p>
委員	<p>15ページのフードドライブの実施回数の部分ですが、この回数というのは、累計なのか年に何回なのかどちらなのかわかりにくいと思います。</p> <p>同様に、11ページの公共機関の利用促進のチラシの配布の単位のところも、回ではなく年という標記ではないでしょうか。</p>
事務局	<p>15ページのフードドライブの実施回数につきましては、累計ではなく、年の実施回数になります。</p> <p>11ページの公共機関の利用促進のチラシ配布につきましても、同様に年あたりの回数になります。</p>
会長	<p>19ページの合併浄化槽の補助基数のところ、合併浄化槽の補助件数が毎年60件となっていますが、伊万里市の新築住宅の軒数は、現在何軒ありますか。毎年、そのうちの60軒が補助になるということでしょうか。</p>
事務局	<p>新築の棟数について、固定資産税係に確認したところ、毎年度、若干の増減はありますが、150軒から180軒となっております。</p>

	<p>このすべてに合併浄化槽がつけられるわけではなく、いわゆる下水道区域外のところにつきますので、浄化槽設置区域内に新築される住宅、もしくは水回りをリフォームされて汲み取りから合併浄化槽に切り替えられた方などが補助基数の対象になります。</p> <p>伊万里市では現在、国、県、市の補助により、5人槽で33万2000円、7人槽で41万4000円の補助を実施しているところでございます。</p> <p>補助事業については、上下水道部で実施をしております、年度によって増減はありますが、大体年間60件の浄化槽設置をさせていただいております。</p>
会長	合併浄化槽設置補助の充足率は何%ほどになりますか。
事務局	上下水道部に確認したところ、伊万里市内の浄化槽設置補助については、予算の関係で補正が必要な場合もあり、その場合は少し待っていただくことになりますが、ほぼ100%に近い充足率とのことです。
会長	22ページの臭気パトロールの実施のところで、臭気パトロールを月に1回実施するという計画ですが、いつも問題になっている施設などはございますか。
事務局	山代町の伊万里工業団地付近が風向きによっては臭気が発生しているとの相談を市民の方から受けています。相談があれば、直ちに現地確認を行い、臭気を確認でき、原因が特定できれば、該当企業に対して指導を行うなどの対応をしています。
会長	工業団地からの臭いというのは化学薬品的な臭いでしょうか。それとも汚泥か何かでしょうか。
事務局	フィッシュミールを製造している工場になります。
会長	<p>24ページの狂犬病予防接種率の向上のところで、現状値が約85%となっていますが、これを維持したいということでしょうか。</p> <p>また、全国平均的はどのくらいでしょうか。</p>

事務局	<p>全国平均が約70%と記憶しております。</p> <p>現在、室内犬が多くなっていることもあり、なかなか接種率が上がらない状況にあります。</p> <p>また、ペットフードの会社が調べた飼養件数でも、飼養件数より登録件数のほうが若干少ないというデータも出ているところです。</p> <p>ただ、現在、伊万里市は、県内の中で一番高い接種率となっておりますので、これを今後も維持していきたいという計画でございます。</p>
会長	<p>26ページの環境講座の開催数のところで、現状14回のところを20回に増やす目標となっておりますが、気持ち的にはもっと増やしていただきたいと思いますので、ぜひ推進をお願いします。</p>
委員	<p>15ページの3Rの推進のところで、ペットボトルキャップの拠点回収を行っているとはありますが、今までペットボトルキャップの回収はしていないという認識でしたが、拠点はどこになるのでしょうか。</p>
事務局	<p>今年度から再度ペットボトルキャップの回収を始めました。回収拠点につきましては市役所及び各町コミュニティセンター、市民図書館としております。</p>
会長	<p>この取り組みについては市のほうでPRをお願いします。</p>
委員	<p>グリーンカーテンも家庭ごみの削減も皆さんに周知することが一番大切だと思います。周知の方法についても、家庭に近い活動団体やJAなど家庭に直接繋がりがやすいところをピックアップして、そこにチラシを置くことで周知に繋がると思います。</p>
会長	<p>市のPRとして、一般的な方法の別のチャンネルとして、委員の提案のとおり、環境マインドの高い住民団体、市民団体に対して個別の案内を送るのは非常に効果的だと思います。ぜひ、そういった周知方法も取り入れていただけたらと思います。</p>
事務局	<p>非常に有効な手段だと感じましたので、検討を進めたいと思います。</p>

委員	<p>ペットボトルキャップ回収についてですが、以前は社会福祉協議会が回収をされていましたが、現在、持っていくところが分からないということで立花コミュニティセンターによく持って行ってあります。</p> <p>武雄市内の中学校では、ペットボトルの回収を行っている中学校があり、クラス別で競争しながら、リサイクルに取り組まれています。伊万里市でも学校なども取り込んで行ってほしいと思います。</p>
会長	<p>委員の皆様他にご意見、ご質問等ございますか。</p> <p>それでは、報告事項②地球温暖化対策実行(事務事業編)の改定について事務局からご説明をお願いします。</p> <p>[②地球温暖化対策実行(事務事業編)の改定について事務局から説明]</p>
会長	<p>ご説明ありがとうございました。</p>
会長	<p>温室効果ガスの排出については基準年の2013年度から比べると、2024年度は一定の削減効果が出ているということですが、主な理由は何ですか。</p>
事務局	<p>例年、温室効果ガスが減少している主な要因については資料4の8ページに全体的な傾向を記載しております。</p> <p>主な減少要因としましては、施設の統廃合の実施、LED照明、高効率空調などの省エネルギー機器の導入によるエネルギー効率の向上に加え、市庁舎での都市ガスの利用廃止などが主な減少要因となっております。</p>
会長	<p>統廃合をして数が減ったということですか。</p>
事務局	<p>施設数そのものが減りました。</p>
会長	<p>LED照明や非常に効率の良い空調設備に順次置き換えているということですね。都市ガスの利用廃止とありますが、その都市ガスはもともと何に使われていたのでしょうか。</p>
事務局	<p>主にお湯等を出す際の給湯関係になります。</p>

会長	現在はどのようにして給湯しているのでしょうか。
事務局	現在はそれぞれが電気ポットを使うような形でお湯を沸かしたりしています。
会長	大型の給湯システムをやめたということでしょうか。
事務局	はい。
会長	委員の皆様他にご意見、ご質問等ございますか。 それでは、報告事項③環境基準の変更に伴う環境保全協定細目書等の一部改定について事務局から説明をお願いします。
	[③環境基準の変更に伴う環境保全協定細目書等の一部改定について事務局から説明]
会長	ご説明ありがとうございました。
会長	令和6年1月の水質汚濁防止法の改定に対応したものになります。 ご説明のように協定書細目書改定後の大腸菌数300CFU/mlというのは妥当な基準であると思います。
会長	委員の皆様他にご意見、ご質問等ございますか。 ないようですので、報告事項③の案件については以上としたいと思います。
(5) その他	
会長	その他ですが事務局から何かございますか。
事務局	本日の審議会につきましては、事務局で作成しましたものを、染谷会長の方に確認していただいた後に、市のホームページで公表する予定としております。 なお審議会における発言に関しましては、どの委員の発言かは記載いたし

	<p>ませんのでご了承をお願いします。</p>
会長	<p>委員の皆様から、ご質問・ご意見等はございませんか。(なし)</p>
会長	<p>伊万里市の産業廃棄物最終処分場の建設についてお聞きしたいのですが、産業廃棄物最終処分場の場合、公害防止協定が結ばれるのではないかと思います。どうなっていますか。</p>
事務局	<p>黒川町黒塩地区以外にも産業廃棄物最終処分場はございますが、市が主体となって結んだ公害防止協定はございません。</p> <p>ただ、地元と事業所が環境保全協定を結ばれて、そこに市が立会人となったケースはございますが、甲乙、当事者として結んだというケースはございません。</p>
会長	<p>市として関与しないんですか。</p>
事務局	<p>基本的に地元と事業者が結ばれているものであり、あくまで、環境保全協定の約束事の履行を確認する立場での立会人ということになります。</p>
会長	<p>伊万里市はいくつかの事業所と公害防止協定を締結されていますが、締結する基準は何かあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>基本的に伊万里市が誘致した企業と協定を結ぶこととなっております。</p> <p>誘致企業につきましては、公害防止協定の当事者である場合や、誘致企業でなくても地元が協定を結びたいといった場合に市が立会人として入るパターンということもございます。</p> <p>基本的に市が当事者となるパターンというのは、市が直接管理している黒川町の環境センター等の施設や誘致企業については、市が当事者となっております。</p>
会長	<p>公害防止協定を結ぶのは地区単位なのか町単位なのかどちらになりますか。</p>
事務局	<p>地元の区と事業者が結ばれています。</p>

会長	<p>今回、産業廃棄物最終処分場は管理型埋立と伺ってます。</p> <p>私自身、北九州にある大学に勤務していた時に、管理型埋立処分場から出る汚水の安全性について研究していましたが、基本的に、現行の制度、法律を遵守すれば、問題はないという認識です。</p> <p>事業者が法令を遵守して、設計、施工、建設から適正な運転管理をすれば問題はありませんが、そこの監視を地元だけに任せてよいのかという問題があります。誰が監視するのかということも市民の不安要素としてあるかと思います。</p> <p>そういう意味では、伊万里市としても、ある程度見守っていただく姿勢があれば、後々大きなトラブルを防げると思います。</p>
委員	<p>市が誘致する企業以外が進出する場合、この環境審議会等には全くかからないということになりますと、この環境審議会での環境審査の意義があるのか疑問に思います。</p> <p>誘致企業でなければ全く協議もできないとなれば、伊万里市の環境を考えるうえで不安に思います。</p>
事務局	<p>基本的に新規事業所は誘致企業以外にも結構な数ありますので、すべてと環境保全協定を結ぶのはなかなか難しいと思っております。</p> <p>ただ、今回の最終処分場につきましては、基本的に調査権というのは許可権者である佐賀県が持っておられますので、立ち入り調査や事故発生時の調査については、佐賀県がきっちり行われるかと思います。</p> <p>現在、市内の各コミュニティセンターを回り、説明会をしておりますが、市民の不安がどうしても払拭できない場合、事業所に応じていただければ、伊万里市が当事者となりまして、協定を結び、定期的な立入調査や採水立会等は可能ではないかと思います。</p> <p>その場合、地元で協議会を作っていただきまして、事業者、協議会、伊万里市で三者協定を締結し、監視していく形になるかと思います。</p>
会長	<p>法制度的にはもちろん、事業認可を下す佐賀県が指導することになるかと思いますが、一番住民に近い伊万里市が十分な形でコミットして、住民の不安を取り除く、そして、事業者が適正に事業を運営してるかどうかを市が踏み込んで、関与していただきたいと思います。</p> <p>産業廃棄物最終処分場について伊万里市が知りませんという事ではこの環境審議会の</p>

<p>会長</p> <p>会長</p>	<p>意義があるのかということにもなります。少なくともこの案件については、現状についての報告が審議会の場に上がってくるようにしていただきたいと思います。</p> <p>それでは他にございますでしょうか。</p> <p>これで、令和7年度伊万里市環境審議会を終了いたします。委員の皆さま、ご意見、ご協力ありがとうございました。</p> <p>それでは、事務局にお返しします。</p>
<p>(6) 閉会</p>	
<p>事務局</p>	<p>委員の皆様方におかれましては、長時間にわたるご協議また貴重なご意見大変ありがとうございました。参考にさせていただき、今後の市政運営に生かして参りたいと思っております。</p> <p>それでは、以上をもちまして、令和7年度環境審議会を閉会いたします。ありがとうございました。</p>